2026 年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：磯貝　優希
所属：中国語学科　2 年次

今回の海外研修では北京外国語大学で文法・読解の授業と会話の授業を受講しました。授業では教科書の本文の内容理解や要約、本文の内容に関する音声を聞き取るリスニング問題などに取り組みました。また、教科書に出てくる進出単語などをクイズ形式などで学んだり、ペアを作りグループごとに自分達の意見の発表も行いました。文法の授業では意味自体は似ているが使い方の条件が異なる単語などを中心に、使い分けを学びました。私は「通过 」と「经过」の使い分けを理解するのがとても難しく、手こずってしまいました。ですが先生はすぐに次の授業でこれらの 2 つの単語の違いを詳しくまとめた一覧表を作ってくださったり、イラストや教室内の机を道などに見立てて実際の状況を再現するなどし、視覚的にも理解しやすいような説明をしてくださったおかげできちんと理解することが出来ました。日本で受ける中国語の授業では日本語で中国語を説明する形式のものが多いですが、この研修での授業では中国語を中国語のみを使用して学んだので聞き取る力も得ることができたと感じています。また、寮で仲良くなった留学生や学校のグラウンドでお話した現地の方との会話を通じて、今まで中国語を学んできた成果が生かせているという実感を得られて今後の学習のモチベーションになったと同時に、自分の話す中国語が通じた事から今まで感じていた自分の中国語がちゃんと相手に伝わるのか不安という気持ちが無くなりました。この経験を活かしてこれからも中国語の学習に励みたいです。